

運営委員会報告

八三年度第五回運営委員会報告

第五回運営委員会が一九八三年十月十一日、大会会場の「ホテル奥久慈」で開催された。審議内容は以下の通りである。

一、一九八四年事務局は千葉大学・中野 卓会員、皆川勇一会員に、また三十二回大会事務局は神戸大学・北原 淳会員、岩崎信彦会員にお願いすることにした。

二、一九八三年度事業報告案および会計報告案について事務局より報告があり、了承された。

三、「研究年報」第二十集について、例年、投稿希望者の公募を事前に行ない、大会の場で申し込みを受ける形をとっているが、本年度については、総会々場、および十二月発行予定の「研究通信」

版135で公募する。

四、共通課題について、本年度の共通課題「農政と村落」は初年度であるため問題の所在の明確化を中心にして研究を進めてきたので、来年度も引き続き同課題について理論的に深めることになった。

八四年度第一回運営委員会報告

八四年度第一回運営委員会は一九八三年十一月十二日、中央大学会館で開催され、次の議題が審議された。

一、一九八四年度予算について

- 一、研究通信の発行
 - 一、宿題委員会および研究会の開催
 - 一、その他
- 審議経過ならびに決定事項は次の通りである。
- 一、予算ならびに事業計画について。

村落社会研究会 1984年度予算案

収入の部

項目	83年度決算額	84年度予算額	備考
前年度繰越金	140,905円	45,454円	
会費収入	1,125,726	1,200,000	4000円×300人
利 息	5,768	3,000	
雑収入	0	3,000	
合 計	1,272,399	1,251,454	

注) 第31回大会時における84年度予算額よりも繰越金が21,915円増え
収入合計額もその分だけ増となっている。

支出の部

項目	83年度決算額	84年度予算額	備考
「研究通信」印刷費	522,500円	450,000円	4回発行(合計140ページ程度)
名簿印刷費	121,800		
郵送料	269,970	250,000	
連絡通信費	47,280	60,000	
会議費(会場費・交通費)	119,170	100,000	
文具・消耗品費	33,340	50,000	
講師謝金	50,000	50,000	
事務謝金	73,000	60,000	
会員原簿改訂費		20,000	
雑支出	11,800	4,000	
予備費・次年度繰越金	23,539	207,454	
合 計	1,272,399	1,251,454	

(1) 郵送料に関連し、学術刊行物として認定して貰い、郵送料の右記の本年度予算案について審議し、次の諸点を決定した。

低廉化をはかる。この件は、事務局が郵便局に問い合わせ折衝してみる。

(2)連絡通信費には連絡のための電話料も計上し、事務局が自らに支払う形で電話料を支出することを認める。

(3)会議の際の湯茶の接待などに頼んだ学生その他の手伝者には交通費を支給する。

(4)会員原簿の改訂を行なうための費用を計上する。

一、研究通信の発行

本年度は年四回発行することとし、十二月上旬、三月、および九月に通信を発行する。

一、宿題委員会および研究会の開催

(1)第一回宿題委員会を十二月に行なう。

(2)共通課題に関する問題提起を、三十一回大会における課題報告の司会者団にやつてもらい次回の研究通信に掲載する。この件は高橋正郎氏に依頼する。

(3)研究会は、大会にむけて三回開催する。第一回は一月中とし共通課題の基本的問題をとり上げる。

第二回は五月に各地区ごとに研究会を行なう。

第三回は七月八月に、各地区的研究会の成果を集約、検討する。

一、その他

(1)神戸大学の北原委員より、来年度村落社会研究会の大会を、一九八四年十月十日および十一日に行ないたい旨の申し入れがあり、運営委員会でこれを認承した。来年は日本社会学会(十月十三日、十四日の予定)の前に村研の大会が持たれることになる。

(2)編集委員会の名前で、本年度刊行された年報の内容を紹介し、あわせて講読促進を図る。